

講義名	フランス語			授業形態	
担当教員	池端 妙子	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

フランス語の正しい発音、文法の基礎や表現を学び、フランス語の基本的なコミュニケーション能力（聞く、読む、話す、書く力）をバランスよく養うことを目的とします。練習問題を通して、自己紹介や、買い物等「使える」フランス語の表現に視覚的に触れます。また、各課の間にフランスの文化や学生生活等に関する資料を読み、適宜インターネットで調べ学習を行うことで情報を共有することで、フランスでの暮らしを仮想体験することができるでしょう。授業を通して、実践的な言語能力に加え、フランス語圏の文化や社会に関する知識も身につけることで、異文化体験をしながら、汎用性の高いフランス語の力を習得することを目的とします。

到達目標

フランス語の発音ができ、かんたんな挨拶ができる

フランス語の初歩的な表現で下記のようなことが言えるようになる

- 自己紹介をする
- 名前、職業、国籍を言うことができるようになる
- カフェやパン屋で注文することができるようになる
- 簡単な買い物のお話ができるようになる
- 住んでいるところを言えるようになる
- 持ち物を言うことができるようになる
- 好きなものを言える
- 自分の家族・友人を紹介できるようになる

提出課題

授業時に毎回課題を与えます。決められた期間内に考え、授業中に提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題については各自に返却後に解説します。課が終わるごとに小テストを実施し、次の授業で採点したものを返却したうえで解説します。それ以外のテストに関しても採点し返却し、解説します。

評価の基準

- 授業への積極的な参加 20% + 宿題の提出回数とその内容 20% + 小テストの成績 20% + 定期試験 40%
- 定期試験を受けるには、全15回の授業のうち10回以上の授業の出席日数が必要です。

履修にあたっての注意・助言他

- 語学は積み重ねなので、できる限り出席しましょう。授業回数の3分の1以上の欠席で不合格になります。
- 発音練習をしたり、口頭で答える機会も多いので、授業に積極的に参加してください。
- Moodle を必ずチェックし、行われた授業の内容や、次回の授業までに必要なことを確認してください。
- 小テストや中間テストがある場合は、必ず試験範囲の内容を復習し、テストに向けて準備してください。
- 授業で学んだことを授業外でも遊びでよいから確認しましょう。街中や、テレビ、SNSなどでフランス語を探してみてください。
- WIKIの語学講座、フランス映画、フレンチポップスなどを積極的に視聴しましょう。

教科書

.トライ! フランス語.	藤田知子ほか	駿河台出版社	1980	9784411008251
--------------	--------	--------	------	---------------

参考図書

.なし.				
------	--	--	--	--

その他

授業時に毎回書き込み式のプリントを配布します。

授業計画

1. バリに行こう！
予習：教科書Leçon 0 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 0のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
2. 挨拶しましょう。
予習：教科書Leçon 0 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 0のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
3. 自己紹介(1) ・ être
予習：教科書Leçon 1 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 1 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
4. 自己紹介(2) ・ 国籍
予習：教科書Leçon 1 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 1 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
5. 自己紹介(3) ・ -er動詞
予習：教科書Leçon 2 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 2 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
6. 自己紹介(4) ・ 職業
予習：教科書Leçon 2のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 2 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
7. 復習に突入
予習：教科書Leçon 1-2 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 1-2 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
8. 中間のまとめ
予習：第1回から第7回までの教科書Leçon 0-2 のテキストおよび配布プリントを復習、これまでの練習問題を再度練習（28時間）
復習：中間テスト問題の不正解の部分を含む教材を復習しながら再度練習（28時間）
9. カフェでの注文
予習：教科書Leçon 3 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 3 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
10. 名詞と冠詞
予習：教科書Leçon 3 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 3 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
11. 兄弟・姉妹について話す
予習：教科書Leçon 4 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 4 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
12. 否定文
予習：教科書Leçon 4 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 4 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
13. ショッピング
予習：教科書Leçon 5 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 5 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
14. 形容詞
予習：教科書Leçon 5 のテキストを確認して予習（28時間）
復習：当日学習した教科書Leçon 5 のテキストおよび配布プリントの復習、さらに練習問題を繰り返し練習（28時間）
15. まとめ、期末テスト練習問題

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	○ カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得します。また、語解練習を通して海外の社会や文化について、日本との違いを確認しながら学ぶことで新しい視点と豊かな発想力を養います。そして基本的な読解と内容理解・情報収集に慣熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげます。これらの能力は、同学生徒に求められる自業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立ちます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

moodleというシステムを使用し、PCまたは携帯で、授業の予習・復習、発音のチェック、語彙や動詞活用を覚える、テストの準備などの活動を行います。欠席した場合は、その日の授業内容を確認できます。メール、moodleなどを利用し、疑問点などを質問できます。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
フランス語から日本語への翻訳作業（芸術に関する論文、裁判記録、特許など）。

備考

--